



2010年3月期 決算説明会

2010年5月6日

JASDAQ:6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<http://www.nichidai.jp/>

ネットシェイプ事業

ニチダイ

単独

- ◆主に自動車のエンジン・トランスミッション・駆動系部品などの成型に使われる精密鍛造金型。
- ◆切削なしに部品成型を行うネットシェイプがコア技術。
- ◆自動車部品、エアコン部品(スクロール鍛造品)などの精密鍛造品の量産。
- ◆金型の設計・開発から部品生産まで手掛けるトータルエンジニアリング力が強み。



精密鍛造金型



スクロール鍛造品

ニチダイアジア (NDA)

- ◆タイに設立した金型販売拠点。

ニチダイUSA (NUC)

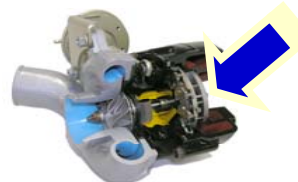
- ◆米国オハイオ州にある金型販売拠点

海外拠点

アッセンブリ事業

ニチダイプレジジョン (NPC)

- ◆ディーゼルエンジン用 VGターボチャージャー部品のアッセンブリ(組立)。



VGターボチャージャー部品

ニチダイタイランド (NDT)

- ◆タイ・バンコク近郊にあるターボチャージャー部品の生産拠点。

フィルタ事業

ニチダイフィルタ (NFC)

- ◆食品、医薬品、原子力、航空宇宙など、多様な産業分野で使われる積層焼結金網フィルター。



積層焼結金網フィルター

タイ・シンタード・メッシュ (TSM)

- ◆タイ北部・チェンマイ近郊に立地する石油掘削用フィルターの生産拠点。

I .10/3期実績

I .10/3期実績 — P/L:売上・利益の状況 —

単位:百万円

		09/3 実績 08/4-09/3	10/3 計画 09/4-10/3	10/3 実績 09/4-10/3	伸び率	計画比
単 独	売上高	5,904	4,000	4,103	△ 30.5%	2.6%
	売上総利益	1,310	540	556	△ 57.6%	3.0%
	販売管理費	1,132	1,000	884	△ 21.9%	△ 11.6%
	営業利益	177	△ 460	△ 327	—	—
	営業外損益	△ 87	△ 100	△ 14	—	—
	経常利益	89	△ 560	△ 342	—	—
	当期純利益	173	△ 345	△ 359	—	—
連 結	売上高	10,394	7,500	6,887	△ 33.7%	△ 8.2%
	売上総利益	1,999	980	923	△ 53.8%	△ 5.8%
	販売管理費	1,683	1,470	1,336	△ 20.6%	△ 9.1%
	営業利益	315	△ 490	△ 412	—	—
	営業外損益	△ 124	△ 120	△ 6	—	—
	経常利益	190	△ 610	△ 419	—	—
	当期純利益	205	△ 400	△ 450	—	—

* 百万円未満切り捨て。

I .10/3期実績 — 四半期別業績推移 (連結売上高・経常利益)—

- ✓ 2010年3月期第1四半期を底に、収益が回復。第2四半期から第4四半期にかけて、売上高、経常利益が増加。

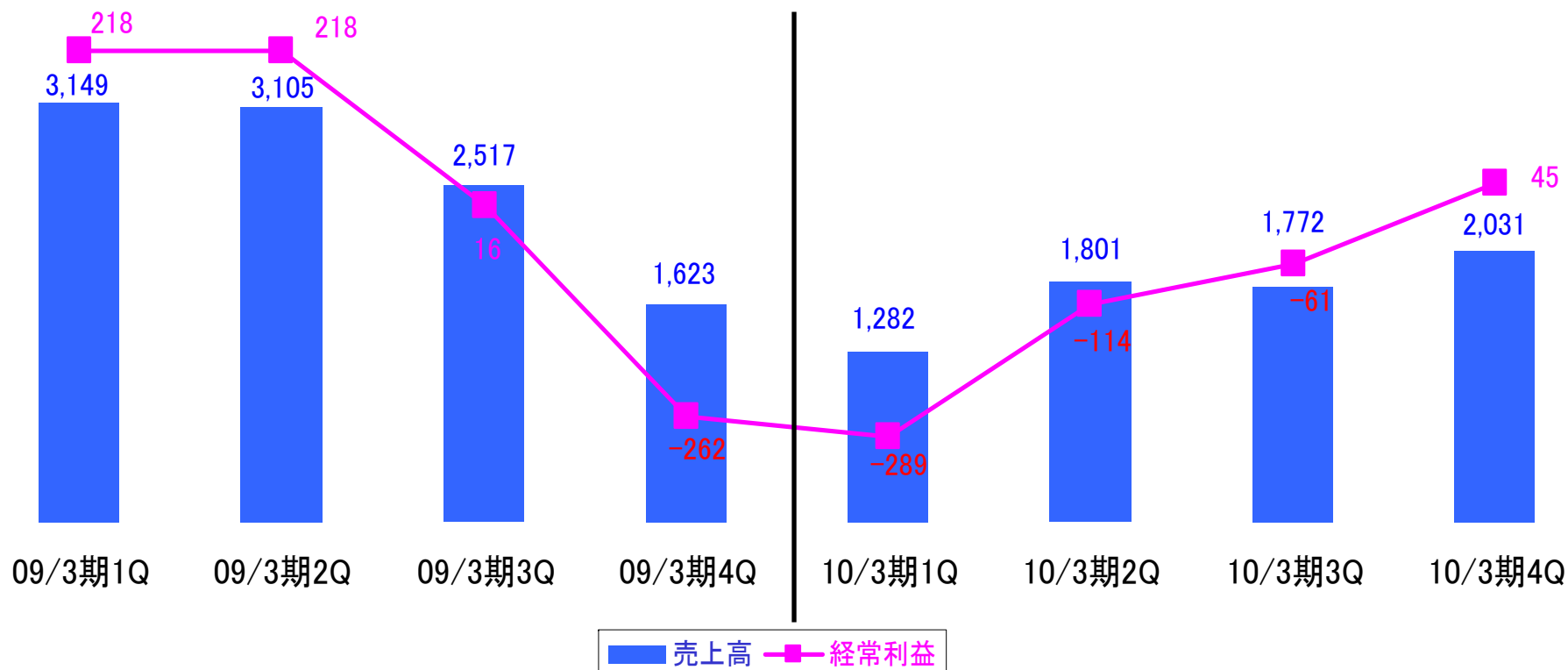
連結

売上高(左軸)

単位:百万円

経常利益(右軸)

単位:百万円



I .10/3期実績 — 事業別売上高の状況 —

連結

単位:百万円

事業	09/3 通期実績 08/4-09/3	10/3 通期計画 09/4-10/3	10/3 通期実績 09/4-10/3	伸び率	計画比
ネットシェイプ	6,232	4,000	4,103	△ 34.2%	2.6%
アッセンブリ	2,811	2,280	1,847	△ 34.3%	△ 19.0%
フィルタ	1,350	1,220	937	△ 30.6%	△ 23.2%
連結計	10,394	7,500	6,887	△ 33.7%	△ 8.2%

▶ 下半期より、金型、精密鍛造品ともに売上高増加。

▶ 前期に引き続き、欧州自動車市場の低迷の影響。

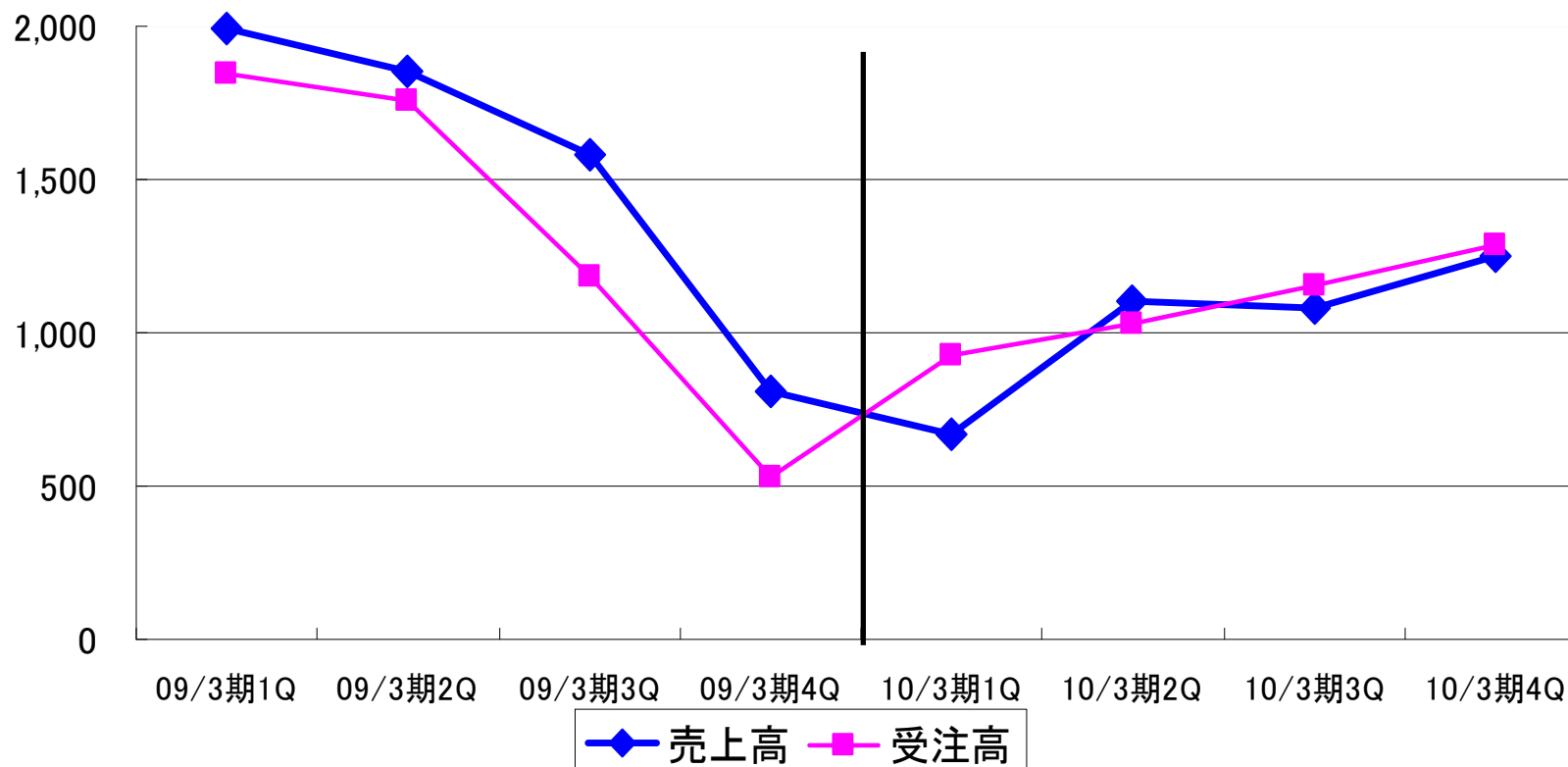
▶ 新製品の増加があったものの、国内の民間投資意欲の減衰、石油開発市場の低迷が影響し、売上高減。

I .10/3期実績 — ネットシェイプ事業概況 —

- ・自動車産業における景況悪化によって減少した売上高は、第1四半期を底に回復傾向となる。
- ・金型部門および精密鍛造品部門ともに、同様の傾向を示す。

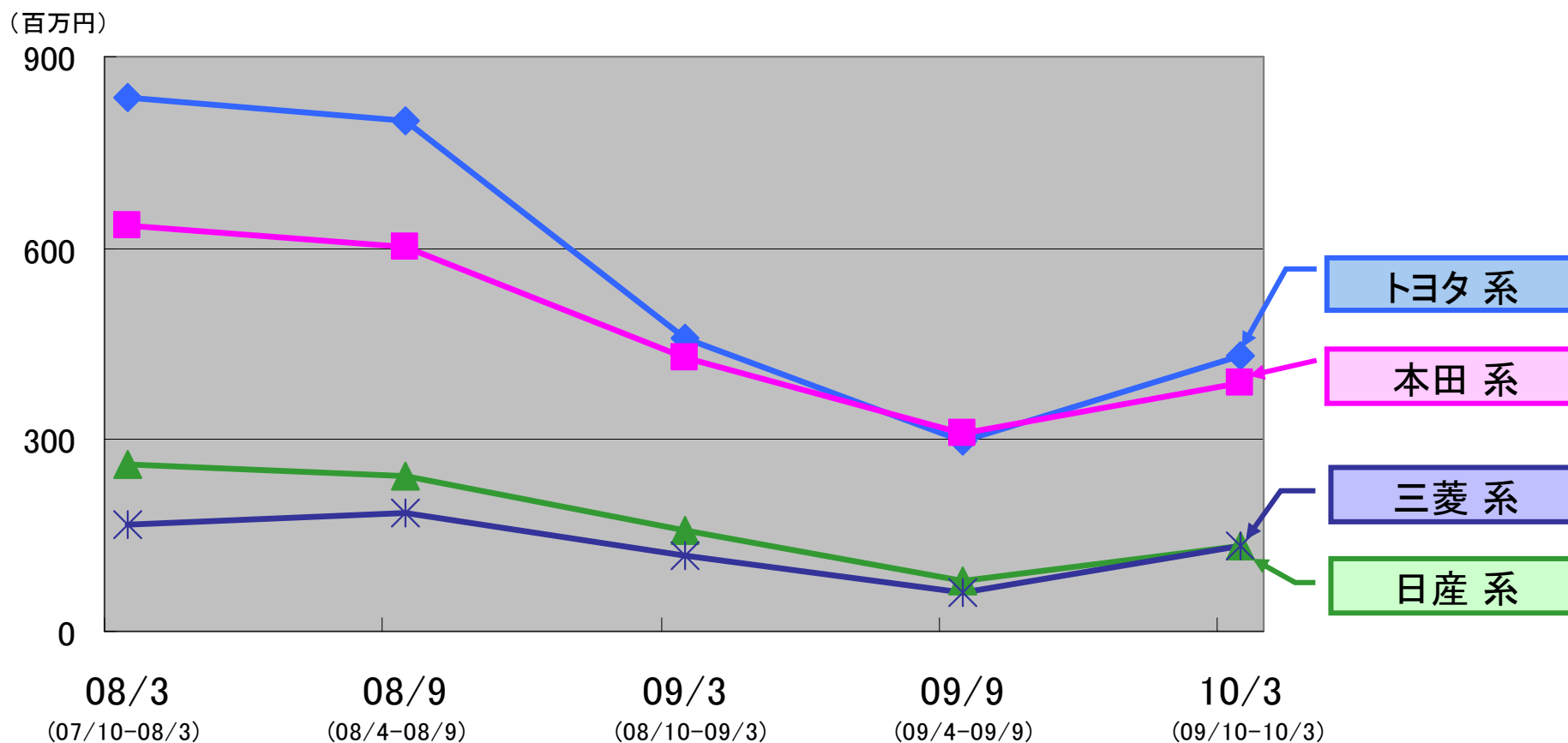
ネットシェイプ事業受注・売上高推移

単位: 百万円



I .10/3期実績 — ネットシェイプ事業概況-ユーザー別金型売上高推移 —

- ✓ 国内の主要ユーザーが下半期より増加に転じ、各メーカー向けとも売上高増加となる。



I .10/3期実績 — ネットシェイプ事業概況 地域別売上高 —

単位：百万円

	09/3 実績	10/3 実績	伸び率
国内	4,365	2,886	△ 33.9%
海外合計	897	651	△ 27.4%
アジア	442	547	23.8%
北米	434	88	△ 79.6%
その他	21	15	△ 29.1%
金型	5,262	3,537	△ 32.8%
精密鍛造品	969	566	△ 41.6%
ネットシェイプ事業計	6,232	4,103	△ 34.2%

■国内

▶ 第3四半期よりエコカー減税による販売台数増の影響、新興国向けの輸出金型の増加の影響により、国内主ユーザーの売上高が増加。

■海外

▶ アジア地域における中国、韓国メーカーへの売上高が増加。
▶ 北米地区は、前年ニチダイアメリカ撤退の影響による。

■精密鍛造品

▶ 下半期より、緩やかな回復となる。

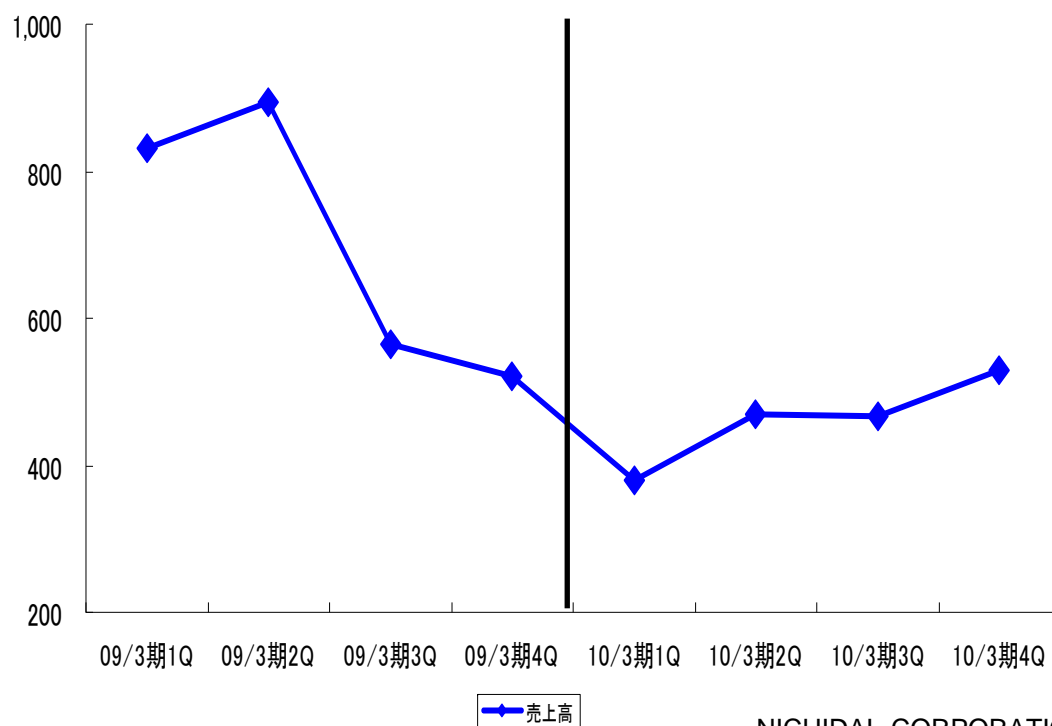
* 百万円未満切り捨て。

I .10/3期実績 — アッセンブリ事業概況 —

- ・売上高は、第1四半期を底に回復傾向にあるが、欧州自動車市場の低迷によりVGターボチャージャー部品が伸び悩んでいる状況。
- ・第4四半期よりNICHIDAI(THAILAND)LTD.における量産を予定どおり開始。

単位：百万円

アッセンブリ事業売上高推移



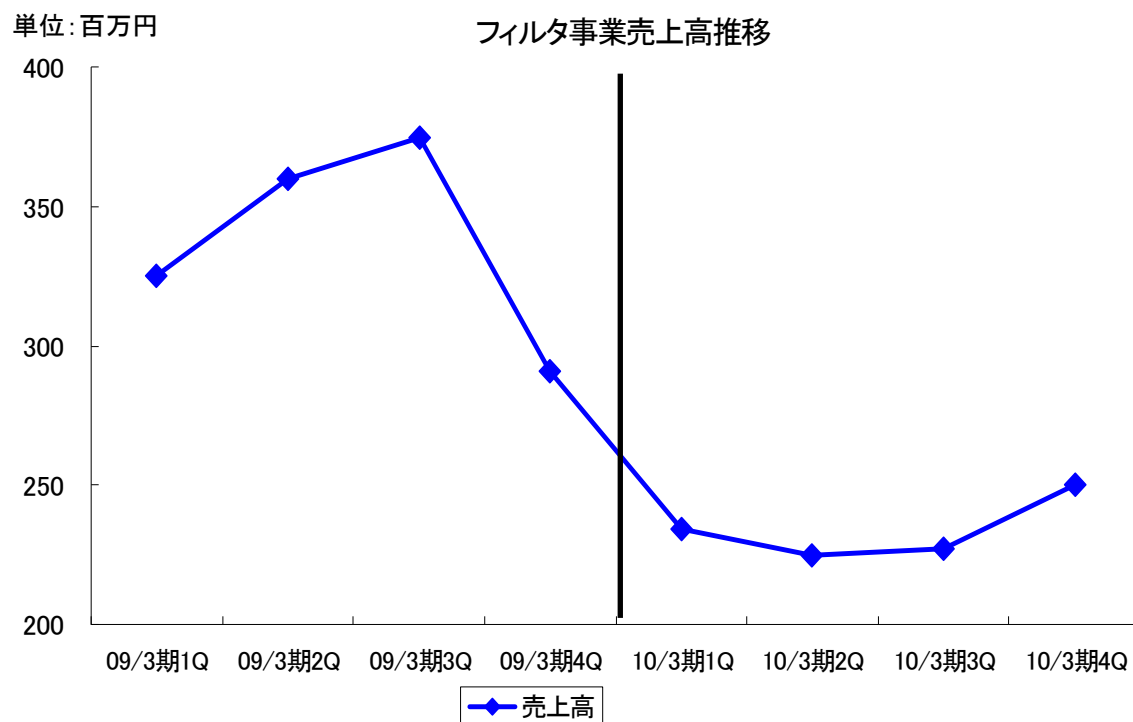
国内外別売上高推移

単位：百万円

	09/3 実績	10/3 実績	伸び率
国内	2,811	1,730	△ 38.5%
海外	-	116	-
総合計	2,811	1,847	△ 34.3%

I .10/3期実績 — フィルタ事業概況 —

- ・ヘルスケア向けなどの新製品の売上高増が寄与するも、厳しい投資環境が続き、国内売上高が減少。
- ・海外においては、石油掘削市場の停滞により、THAI SINTERED MESH CO.,LTDにおける石油掘削用フィルターの売上高が減少。



国内外別売上高推移

単位：百万円

	09/3 実績	10/3 実績	伸び率
国内	900	730	△ 18.9%
海外	450	207	△ 54.0%
総合計	1,350	937	△ 30.6%

I .10/3期実績 — セグメント別P/L —

連結

単位：百万円

	09/3			10/3		
	売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益	利益率
ネットシェイプ	6,232	117	1.9%	4,103	△ 327	△ 8.0%
アッセンブリ	2,811	68	2.4%	1,847	△ 131	△ 7.1%
フィルタ	1,350	129	9.6%	937	46	4.9%
連結計	10,394	315	3.0%	6,887	△ 412	△ 6.0%

▶ 売上高減少による大幅な営業損失を計上。
 ▶ 下半期からの売上高の回復により、第4四半期は営業黒字となる。

▶ 欧州自動車市場の低迷の影響により、大幅な営業損失

▶ 国内市場の低迷および石油掘削用フィルターの売上高減少により、大幅な減益。

I .10/3期実績 — 売上原価の状況 —

連結

単位: 百万円

	09/3 実績	比率	10/3 実績	比率
売上高	10,394	100.0%	6,887	100.0%
材料費	2,746	26.4%	1,815	26.4%
製品仕入	505	4.9%	355	5.2%
外注加工費	1,183	11.4%	713	10.4%
補助材料費	362	3.5%	307	4.5%
人件費	1,998	19.2%	1,690	24.5%
減価償却費	532	5.1%	470	6.8%
在庫増減	△ 349	△ 3.4%	△ 106	△ 1.5%
その他	716	6.9%	504	7.3%
売上原価	8,395	80.8%	5,963	86.6%
売上総利益	1,999	19.2%	923	13.4%

人件費の減少

▶コスト抑制緊急対策による。

その他の減少

▶各種、コスト抑制策による削減。

* 百万円未満切り捨て。

I .10/3期実績 — 販売管理費の状況 —

連結

単位：百万円

	09/3 実績	比率	10/3 実績	比率
売上高	10,394	100.0%	6,887	100.0%
荷造・運賃	107	1.0%	88	1.3%
旅費交通費	112	1.1%	88	1.3%
人件費	842	8.1%	680	9.9%
減価償却費	100	1.0%	87	1.3%
賃借料	51	0.5%	40	0.6%
その他	469	4.5%	351	5.1%
販売・管理費	1,683	16.2%	1,336	19.4%

人件費の減少

➤コスト抑制緊急対策による。

その他の減少

➤各種、コスト抑制策による削減。

* 百万円未満切り捨て。

I .10/3期実績 — B/S:資産 —

連結

単位:百万円

	09/3 実績	10/3 実績	増減
現金預金	1,670	1,413	△ 256
受取手形	728	632	△ 96
売掛金	1,361	1,769	407
たな卸資産	1,146	1,167	20
その他	500	160	△ 340
貸倒引当金	△ 3	△ 3	0
流動資産計	5,404	5,139	△ 264
有形固定資産	5,282	5,170	△ 112
無形固定資産	31	61	29
投資その他の資産	795	833	37
固定資産計	6,110	6,064	△ 45
繰延資産計	8	1	△ 6
資産合計	11,522	11,205	△ 317

売掛金の増加

➤09/3期第4四半期から、10/3期末にかけて、売上高が段階的に増加してきた影響。

流動資産その他の減少

➤09/3には、法人税中間納付還付、ニチダイアメリカ譲渡などによる未収入金を含む。

I .10/3期実績 — B/S:負債・純資産の状況 —

連結

単位:百万円

	09/3 実績	10/3 実績	増減
買掛金	231	607	376
短期借入金	1,228	1,687	458
未払法人税等	56	40	△ 15
賞与引当金	111	115	3
その他	420	321	△ 98
流動負債計	2,047	2,771	724
社債	1,000	1,000	0
長期借入金	1,525	891	△ 633
その他	101	97	△ 4
固定負債計	2,626	1,988	△ 638
負債計	4,674	4,760	85
資本金	1,429	1,429	0
資本剰余金	1,192	1,192	0
利益剰余金	4,078	3,627	△ 450
少数株主持分	257	264	7
その他	△ 110	△ 70	39
純資産計	6,848	6,444	△ 403
負債・純資産合計	11,522	11,205	△ 317

買掛金の増加

▶09/3期第4四半期から、10/3期末にかけて、受注、売上高が段階的に増加してきた影響。

* 百万円未満切り捨て。

連結

単位: 百万円

	09/3	10/3	増減
営業活動によるCF	1,033	270	△ 763
投資活動によるCF	△ 632	△ 321	310
財務活動によるCF	395	△ 230	△ 625
現金及び現金同等物の増減額	661	△ 259	△ 921
現金及び現金同等物の期首残高	658	1,320	661
現金及び現金同等物の期末残高	1,320	1,060	△ 259
FCF	401	△ 51	△ 452

営業活動によるCF

- 10/3期大幅な損失計上による。
- 売上債権増減の影響により減少。
- 法人税還付の影響あり。

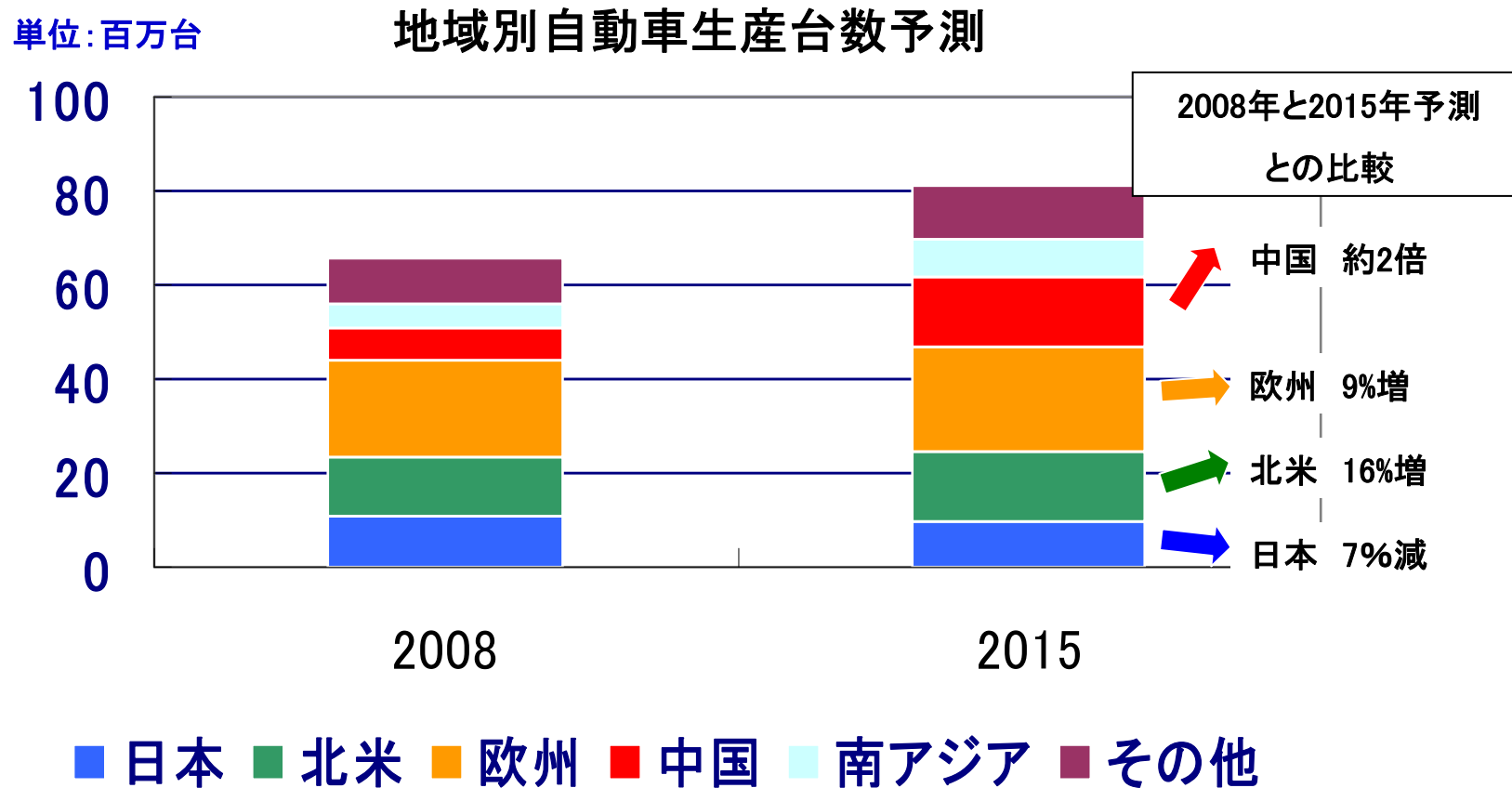
投資活動によるCF

- 設備投資抑制の影響。

Ⅱ. 経営戦略

✓ リーマンショック後の自動車産業における環境変化

既存市場の縮小と中国を初めとする新興市場の急成長

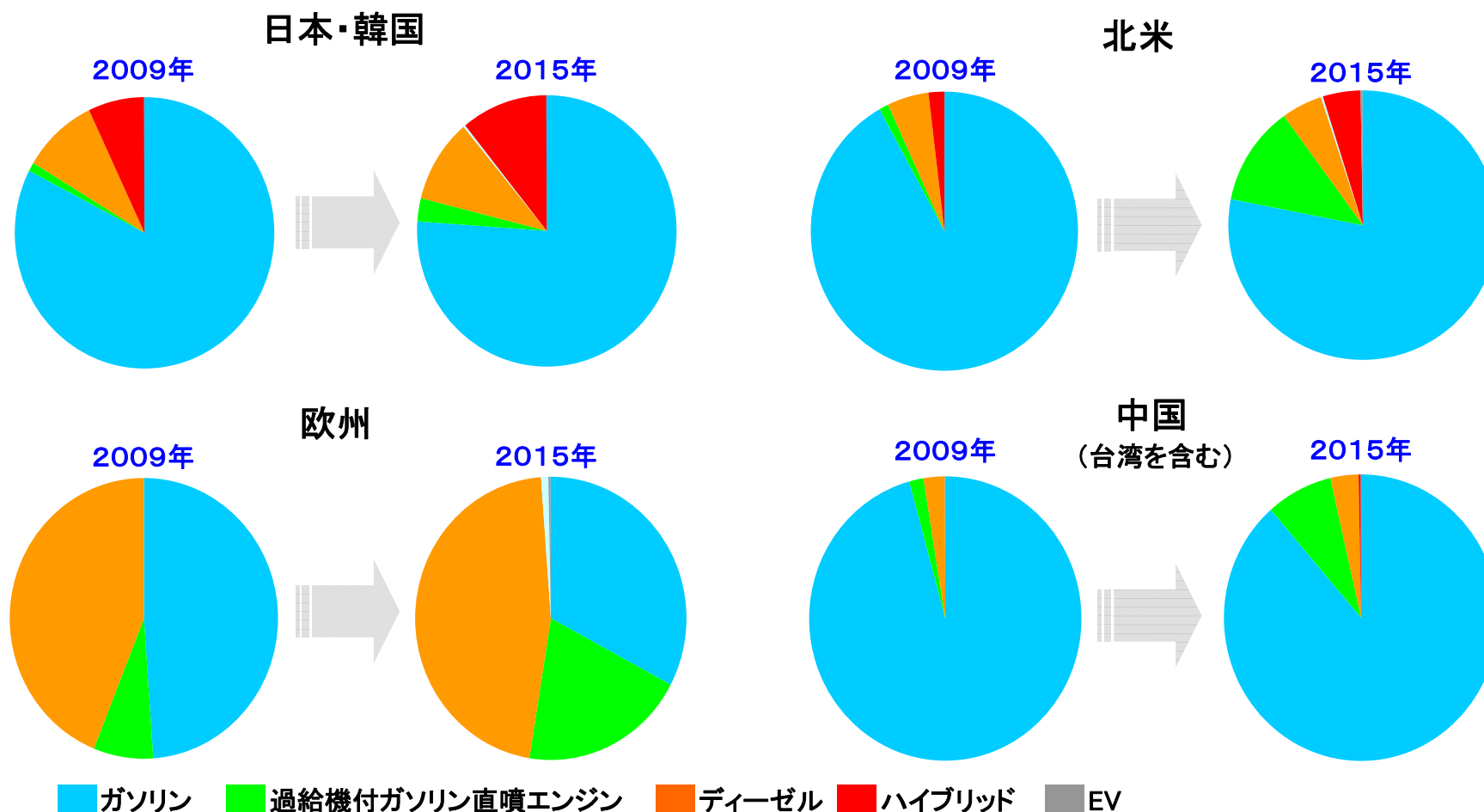


出所:自動車産業予測レポート 2010-2015(日経BP社)より作成

Ⅱ.経営戦略 — 環境変化の認識 —

- ✓ リーマンショック後の自動車産業における環境変化
各地域におけるパワートレインの急激な変化。

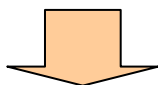
地域別エンジン普及率推移



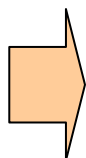
出所:自動車産業予測レポート 2010-2015(日経BP社)より作成

業界環境の変化

- ✓ 新興国市場の急成長
- ✓ パワートレインの変化



当社における製品領域においても、顧客ニーズが大きく変化することが予想される。



経営方針

「顧客満足の徹底」

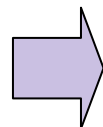
- ✓ 今年度より3年間は、急変する顧客ニーズへの対応のため「顧客満足の徹底」を追求していく。
- ✓ そのために、役員、役職、人員構成などで経営刷新効果を可視化させる戦略を推進する。
- ✓ 手始めに、コア事業であるネットシェイプ事業を中心に改組。経営判断の迅速化および経営の効率化を目的に、2010年度よりニチダイを社長直轄の本部制に移行。(2010年3月18日プレス発表済)

事業環境

・環境対応によるハイブリッド、電気自動車関連製品の増加。

・国内市場向けおよび北米などの海外輸出向けに行われてきた国内自動車生産台数の停滞に伴う既存市場の縮小。

・中国、インドなどアジアを中心にした市場の成長。



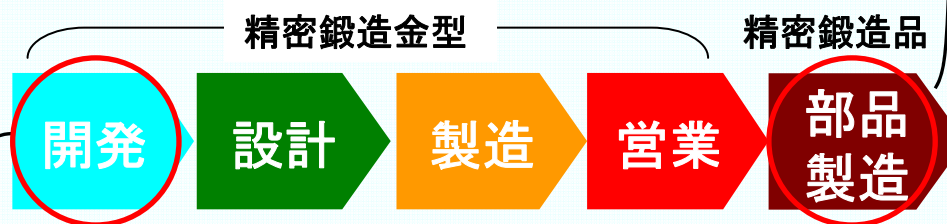
事業戦略

- ✓ 精密鍛造部品量産も含む精密鍛造に係る技術をコアとした成長戦略の推進
⇒精密鍛造品量産事業の立ち上げ



精密鍛造品

ネットシェイプ事業のバリューチェーン



- ✓ 精密鍛造金型に関わるバリューチェーン全体を見直すことによるQCDの向上⇒海外展開を見据える。

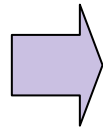


精密鍛造金型

- ✓ EV、自動車以外の分野の市場をターゲットにおいた精密金型市場の確立⇒今年度より開発力強化を目的として開発室を新設

事業環境

- ・ 欧州におけるディーゼル化比率は依然50%前後で推移する見込。
- ・ ダウンサイジング化によるガソリン車向けのターボチャージャーの増加。
- ・ 新興国向けターボチャージャーの需要増加。



事業戦略

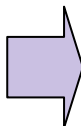
- ✓ 量産ベースがNDT(ニチダイタイランド)にシフトしていくことに伴う、NPC(ニチダイプレシジョン)との連携および役割分担の明確化。
⇒国内拠点を新事業開発拠点としての位置づけ
- ✓ コスト削減、在庫削減を目的としたサプライチェーンマネジメントの強化。
- ✓ ターボチャージャー部品における、塑性加工を活かした工法開発への取り組み。

事業環境

引き続き厳しい国内における投資環境が続く見込。

・石油掘削市場においても、大きな需要増加は見込めない状況。

・新興国市場における需要増大の見込。



事業戦略

✓ 新製品、新用途、新市場の開拓
⇒排ガスフィルタなどへの対応。

✓ TSM(タイシンタードメッシュ)を拠点としたアジア戦略の推進。
⇒石油掘削用フィルター以外の製品拡大

Ⅲ.11/3期計画

Ⅲ.11/3期計画 — P/L:売上・利益 —

単位:百万円

		09/3 実績 08/4-09/3	10/3 実績 09/4-10/3	11/3 計画 10/4-11/3	伸び率
単 独	売上高	5,904	4,103	5,300	29.1%
	売上総利益	1,310	556	1,244	123.7%
	販売管理費	1,132	884	1,014	14.7%
	営業利益	177	△ 327	230	—
	営業外損益	△ 87	△ 14	△ 80	—
	経常利益	89	△ 342	150	—
	当期純利益	173	△ 359	130	—
連 結	売上高	10,394	6,887	9,000	30.7%
	売上総利益	1,999	923	1,750	89.4%
	販売管理費	1,683	1,336	1,450	8.5%
	営業利益	315	△ 412	300	—
	営業外損益	△ 124	△ 6	△ 100	—
	経常利益	190	△ 419	200	—
	当期純利益	205	△ 450	150	—

* 百万円未満切り捨て。

Ⅲ.11/3期計画 — 事業別売上高および次期の見通し —

連結

単位：百万円

事業	09/3	10/3	11/3	伸び率
	通期実績 08/4-09/3	通期実績 09/4-10/3	通期計画 10/4-11/3	
ネットシェイプ	6,232	4,103	5,300	29.1%
アッセンブリ	2,811	1,847	2,750	48.9%
フィルタ	1,350	937	950	1.4%
連結計	10,394	6,887	9,000	30.7%

▶金型部門において、主ユーザーにおける需要の下半期からの本格回復を見込む。
 ▶米系部品メーカー向けの精密鍛造部品の量産開始。

▶欧州自動車市場の回復および新興国向け需要増を背景とした増加を見込む。
 ▶ニチダイタイランドの量産が本格化。

▶引き続き、厳しい国内投資環境および石油掘削市場の低迷を見込む。
 ▶新製品、新用途開拓を進め、減少分をカバー。

* 百万円未満切り捨て。

連結

単位：百万円

	10/3 実績	比率	11/3 計画	比率
売上高	6,887	100.0%	9,000	100.0%
材料費	1,815	26.4%	2,182	24.2%
製品仕入	355	5.2%	963	10.7%
外注加工費	713	10.4%	882	9.8%
補助材料費	307	4.5%	283	3.1%
人件費	1,690	24.5%	1,940	21.6%
減価償却費	470	6.8%	465	5.2%
在庫増減	△ 106	△ 1.5%	122	1.4%
その他	504	7.3%	657	7.3%
売上原価	5,963	86.6%	7,250	80.6%
売上総利益	923	13.4%	1,750	19.4%

人件費の増加

➤コスト抑制緊急策の解除等を見込む。

その他の増加

➤研究開発費などの増加を見込む。

* 百万円未満切り捨て。

Ⅲ.11/3期計画 — 販売管理費の状況 —

連結

単位：百万円

	10/3 実績	比率	11/3 計画	比率
売上高	6,887	100.0%	9,000	100.0%
荷造・運賃	88	1.3%	122	1.4%
旅費交通費	88	1.3%	96	1.1%
人件費	680	9.9%	727	8.1%
減価償却費	87	1.3%	87	1.0%
賃借料	40	0.6%	49	0.5%
その他	351	5.1%	369	4.1%
販売・管理費	1,336	19.4%	1,450	16.1%

人件費の増加

➤コスト抑制緊急策の解除等を見込む。

* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

連結

	07/3 実績	08/3 実績	09/3 実績	10/3 実績	11/3 計画
設備投資額	581	759	524	426	360
減価償却費	617	625	633	557	552

* 百万円未満切り捨て。

	第2四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
09年3月期	8.00	0.00	8.00
10年3月期	0.00	0.00	0.00
11年3月期(予想)	3.00	3.00	6.00

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料には、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel. 0774-62-3485

Fax. 0774-65-2301

E-mail: konno@nichidai.co.jp